やこうと本

九曜文庫

うのこゑなつかしゆゑ[illegible]の花とうん
かりしけうあるまこゑとなつかしきをてとき人もと
ゝにまさりけるまてとくしつまりくあるるる
つれ[illegible]ものしのれとゝ[illegible]とゆる
ゝまくてうへ[illegible]ゆゑ[illegible]ゆま
たちらかるれけるたゝうの本をとくか
くてゆゑゝ[illegible]ものそもをけりはれ
いとちはくゝとれもてりぬるをを
るをくゝゆゑりまこの文をたゝふ
ゆくもゝの[illegible]むりてゝもてゝんと

しつゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]れ
うくかゝれとゝんゝゝらたゝあ[illegible]
ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ちしゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝわれちくの[illegible]ゝ[illegible]
れよくれゝゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝれ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ら[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝけつゝゝの[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

きてもりたさうんとて云ふもりはそ
ばを手をくわしいろをたんとしるてなら
ぬさまふとちりさらくいわ一つ降るもり
けるたうわるとうかりしてとはて出ていと
しくいるるすはし世れなるもはけはるとれた
まわていとちるくうはぬるとれはるき
はるははるとちるはるるけくらはるるけくし
くるるてきたおりていはれるはたとへるす
こはるくさしくしるへさはるしたはもやは
ちるしはるるまてきは世宮はるまてはれはる

しえはるてるるはるちしはるくれるて
ちるへるるきまてるてんるくわれ
はちるはるれはは御宇九月すくはるたのし
てはいはたてもるはるはるはるはるはつて
九年せはるるきれるはつまてかるするは思い
はるるたけはるてるるてさはるはるはつるはれ
ムるまはいはるくはるはるれはるはるはは今
するて三月やるたはるるはるはるはるはり
つるはるはるやはくはんはるはるはるはは
はるはるはるはるはるはるはるはるはは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こそとくしわれびんのかみをすきゆくと
のこりすくなくなりぬるとめをとめてのぞきま
ぼのまへにえんをとりこけるかれんの
おくゝまるるる

たるにそきるつけゆゆんてくとあるとな
まりこうとおるんこひくくくあけなり
とおくおくして物のうつにも行ありく
とわるんなたるなわらなとてうれわんを
物ーおりたりかりおりとつてきこうれ
ケーこうとこれれとんのうちなわ屋に
ゆれて人乃るるさのこ物るるんさ世くあり
迷いうとてく紙りゆくあり物るるんる
とてこうくて屋作ーケんんゆうくこいい
てらるこ物りきこるやとこ武ありさ面に

こうをおるくこんんいんるとりもうんうして
ありこんこの多りたけこたて分のこれん
たそまりるゆきとるのこそおして到んこる
さこるこ面こうてるくいこくとなりて右の
人いれまとこうこうさこうちて人月ありふ光し物を
ロ上二東屋式たいりれるこはよりて
つも物るるわりさまるれるる人人
うこ事いそこんのそとこ屋こくしつる世
うつわるるこんこきこわりとのこそを
なくこすこのちくてゆつけるはも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆふべとなりてくるまをはしらせてゆくに
ひるまのうかるるそらもきえんとす
ひとりてきてをいまめゆてすてたまふ
えんつれなりもわれもあつてくるまをとる
ひ要りけるものなるゆふべたのめ
さてこゆるこの月をうちまいるめ東
なわをくゆふべとりけるもくる
ゆるもゆふべれとつるひしもいる事
いとうくしてのふもとをもとやるる人
ゆりゆるるをゆふべとゆれふるうさるる

きてうくをするたもりそれをたれらるふ
わしとゆるもるるとりてをいるか
ゆるゆるるをゆふべやしるれなるの所ふた
ゆをわきといとをうてゆてをけるゆん
りてるゆふるをとすすゆるるをふれ
たりてををうゆふゆ月をちめれをゆ日
うをゆりをてをゆふをんをとりは
めれといをんゆるるくいをれくゆ
れてををの所めをゆををれをふくゆ所
ゆをいめるいををわをしゆるるをゆ事

そうのなくんの御ぞめ
くかりの御ひまのちは
よいりてとくとまれこと
このれたれるとなるつる
くんとゆるるさまこと
れとの井とて茅りるし
らしかしの御をつくま
（この中絵とれしをくわ
元つかをるるれ
めしきくれるれんろくんうし女る

そいをつくるかりてゆるくきこ
まつて御つ月ちしきをかれそもよ
おうくすくしたんくそわるるこれるよ
まくしたそしわれるやわつるゆ
ゆかくえんしのくんとそしたちるの
をとしいるるれてもみそわてそ式ゆちふ
うめかくしあうのれくとあうさゆ
と思ふくすくんゆくれてわんまハ
くるも思くいるるくしとちつくて
いかてくをくしまあとれてらとけ御

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まうてきたりたるのぬしなりとうけたまはり
きこえけるもかたくいとまもとりあへず
おもしろき所にてものどかなるあさ
てうきうのんとなりて学てあるに
あるとかるるたびごとにゆくのうんたんをしし
きまもとたんぢつるのうんちかう空あり
きめまてこれ乃世にのこるべきよのなかのあは
さりてきやうきにけてうしとおもふ
らんをつくしんやるるあはれかはるく
ふるまひきにのこりきしうも

ゆくさきにのうんさんあらさなれなと学くし
ぬるけしきをきたるあとにはれけちくけあり
しかるにくのゆくへをあつくしらぬるる
きわりのこれをきにふるえるたきさ
とやるれざるにのあるもしかるるあしき
ろくくをきたるかをあてふるけ
るすきたるるにはるるもありけるふ
なといとあるれと今ハ世をのれるむさるん
ときころにんをうたてんなるるかてあ
ろもはるるゆるまてすくしてんとうにけい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けさのまよりやそむくまでに
る花とみるくはるるのうらにてありてを
ゝりをるゝをはみとをしてはるのあるはな
なるをもにかをゝちみをるをもかをさ無ち
しをけるをあさゝはるをしつかしつまと
らゝゝきこゝつをんをそうめくゝるゑれ
約をゝにをんをうとをするゝゑてちう
をんろわをさるをもうんをせはるゝゝをを
をりてはゝゝ如ゑれけをたをゝはりのと
をせはなりてをりろをまれををはるくあゝい

ゐはるをとをわろをのをゝををりをゝはるは
やゝをみをゝ家をゝちしゝをはるをゝ迷はい
ををはをゝふをんをれはるをいをををゝくをを
をゝをゝをわゝりかをわゝはるをゝををあい
をくをゝをんゝくはきゝをゝをりをはをゝうり
をゝわゝををゝをゝちをあををゝをねをゝ
ををををするををゝををゝをゝれをゝをある合
はゝをを色はゝはをゝくゝをゝをれを或
をるゝみをのをゝつをゝをゝはるを色はるゝれをた
をゝを六ゝくゝをををゝをゝはゝをゝ行

あんとを思ひ出てくきてくてから
くるしき時にたとへつゝ
かをりてうわしさまさるとふるてつゝ
こゝをとゝろくしに心をれ
うつまくくるわしきまの思をくしやを
らとを思ひるそいをわるそれつを伝をいて
たいしまをあるとゝろ
人をとれやいをとをつのやをまをるし
をとをいりあり伝つる彩をあつをらをて
を井伝つるまやくくわをとをゆくをゆくをあ

をれをくくみゆをやをを伝つまて
をつてそをるをあけるをを命の紫りうを
を行るの彩をを伝をををてををわを
あををををを伝りけるををくくみゆを
ををををるをををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを
をををををををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そたちなれぬるやうなるものしぶつんと
ぶんなれぬへされんるるとおもひしてまゐ
りるたくるたくのことめてをうえて色なし
ぬとうをたさりてをりほうをおもしろあれ
くはおしてこれうちやうしるへさるあへをあ
まりてさせるんとはせこれるこうつるかをて
そなたぬるところはけとそれわりさまとさなる
たんたるるそれもしのへんれんなたて波をて
そうて思ふさるうえんとゆるこのことまを
てつくりたるとしくるやへをりるるぬ

んるるんと思ひてはるうりはるうたるをて
いとくをうかとうるんとのことはけわるたて
うくえりたいとまくたはるこをけるん
れんるるとうるれそくきとはるうくゆるとと
をるていくうしわるとえをんなはれ
わるさ向てみこなへ世るとをなはんとを
はるるうちそくさうけをるへまうわるぬと
このれいるたるさんちとをまをれよふく
つるやえんをあゆるるの法のかうけるくを
たくてうりとをうちはたへるくうを也思

なるさまとはてり給ふ古代の有様ハ六条院ハ
つのかゝみ[illegible]
きのへてもゆかしく給ふ十六日の月やうく
あるまてんもおそれ給ふとゝ高つゝ
ているゝんとやとてうち給ハ
あるつるもちゝ出給て二条院よりまた
るゝ人々ハ[illegible]
まんをきんと人々なるゝ御子ハ[illegible]将
して出給ふ
有明の月ハ[illegible]病ハよりはしき

てあるへき方ハ[illegible]
くるゝとおもひて内ハ[illegible]
月けるはしりやうく有るんるとゝ[illegible]
さまこれハ[illegible]
をみとて出給ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
いてゝ[illegible]
くさまつ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けしいくさをうんさんとかをちらすに人々は
いとをしみ恨をなんとわわんそや中納
言殿のさとりわすれられんかなしさ哀をの
へくいたわしてへの乃ぶすくをあわ〳〵うを
おなじようにいたわり文をいとんふうすくをすつ
らいまわしてされんいうてそれさかりまも思
ふまんとんけさしてえるすしたさうの法るれけ
ふれいとんうるまもいたきさこ法るうれて
わりさかをいたうけると人のなかやんあ
えるもおわそれ和〳〵うわひるんら法

ゐるといるすんものくしうわやさてんをいたを
やうるうこうくゐわうたるわんさうを
そうそわるへれるもいおせとやうるれけし
よおわあれんさうをうるくしちすさはり
けるはの和をれとあけわしかなやるるわをあ
のなはてをたいへゐをえおうるをいて
あこりておをそれをのうはれそうさをうは
あ〳〵めうりれおるるへ〳〵つまうたい神の
たをそうう〳〵れ天下行まれはれんるりを
のつ〳〵けとるるおをわりえをたれを

わたくしはなにはのうらにすみわびぬ
とそいふこゝろをよみておくりけるなり
うすくれなゐのかさねのうちきをぬ
ぎてかけるをみてよめる
つれなくてあはでとしのへぬるか
なしいそのかゝりのみるめかな
はるかにてみるめをとるあまをみて
よめる
わたつみのかさねのうへのあまを
とめてこゝにやすみてはなれ
つゝくもりてゆくへもしらぬ
なみのうへかな

ゆくへもしらぬなみのうへをあよ
ぶとてこまのなるをみてよめる
こまもなくなくのこゝろをやすけ
ぬ
はるのはなのえだにとまりて
しらとすゝしきなをもいそのなかにて
らはんなをしきかるさはくゝ
せきもるゝ
ものゝこゝろをよめる
たゝ一ふりにそよ
るまあしの

なくなりぬとおもひけるいとゝ悲しうなん
れば世をこのめるさまにてゆるされあり
しるをあつまりいとうるさきものとこの法師
とくくさきあるれどもたゝてうつくわ
ひれはつるこゝろいとうれしかりけるあるとき
すこしなほみくゆるきまとしたいれたちう
ひはつるれんさしとろうまをわぬるあるうさ
きとこゝろ法師にかはるこゝろやはせ
まそらこしたのうるこゝろとはなをとはて
をけしこゝろをこゝろかるいのちさいうもはこゝ

れらるゝとみしのこゝろれいのちちりやゆくえぬ
年をわるもとゝまるゝ後ゝうをまきした
つれぬこゝれをそいうらく稼ぎとこゝあれどえ
ゝのこゝあるこゝあるこゝふるさはぬるこゝあるこゝ思
ゝうとみしをゝとゝこゝいたるこゝつるこゝ思く
ゝこゝあるこゝしるこゝうるこゝれこゝのこゝをえをてゝうる
ゝあるやこゝれうるをこゝをこゝをこゝをこゝをこゝ
ゝとゝうるこゝくこゝとゝこゝいたるこゝうるこゝを結へて
ゝ井てひかるこゝけはつるこゝをゝるこゝ公表るこゝ
ゝまゝとこゝうるこゝとはるこゝうるこゝれこゝうるこゝれる

きゝすいかのかゝりあるこゝろかの
はゝ祖してうみさとのこゝろはかゝのまゝなるうこ
うのはゝはそとてゝうこゝはゝまとてゝ
うゝゝこゝあけゝわゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ内
ゝしゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

してはかりことをせはしくいそぎてはかりことをせはしくいそぎてはかりことをせはしくいそぎ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きもちをたしなみわすれずあるべき
へていとをんおもひをくしけぬとたとへさへも
三十人ばかりわかくかたちうつくしきかぶろ
ども出いでうるほひて居たるあのめ
ぬきたち多くあつまりて居たる除夜
りのかいまと言ふ文を書きつかはしこれ
はいかなる人ぞと問ふ答へていはく
わりなくてのち二條院よりかく
わかれぬとばかりなる気色なるをきに
見れば年ごろたのみてやそなれ人
なるこのまちよりこわりとやうにおもひて
ふるれしくもえたちさしてしかりなるし
てもしかるべきかりくわるとうんとすること
とおもひてわらはやうやうおもひなるへ
きけーんわんんへさするあるとおもひてうらふ
へさとしわるさちけるとせくとおもひけるそえん
なるうるおもひなるしくわるくこれとおも
いそのしてわるるんひけうしくあるうく
わるとおもひてんとしるくあるわるくけるとて
るなとせとそうてれるこれとおもあま

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとくわしくものをいふをつくしてを
のつからかこちてうんまちありて尚
るておもひいてはいつとなくれる
もしまれのはいりとものとちあるめ
見てもをしからるをくからりまてはを
まちはるまはるつもちりの野をけ
さはをかくさをんはりんのようる尚
をはけくしみをはをはをはをはをん
ものこをしいてはのはをれをはるを
るをしをはをはをはをはをはる

年よりはるをしてまちをはをはをはる
まをしをしをはをはをはをはをはる
をしてはゆををるをはをはをはをん
年をいるをはをはをはをはをはをん
をこはををんこのはををつをはる
ををはををはをはをはをはをはる
ちををるををはをはをはをはをく
しかはをはをのはをはをはをはる
しをはゆををはをはをはをはをを
くはををををはをはをはをはを

なりあのふとけすうりなりたち
おとひとみすいそみるさんのことあり
ありたいはるとちえのすくなきを式人和
らえれるりそていそ思えなけうえ
おもしきてなえつわうけたはるとうとち
ちりうしは年をうとたはつとれるえ
はるとうえおるとしのくしはめとふて
うえるおとはるなるはとてなくさはをは
しえいるる年ようとれりる御仁
をえてをれわはるれはうり方拙を

まをけせてるさはりてなるれめる
さはるれしおりるると思ふりと今ち
くて人ひんとくうしくあとたとありも
てすてれをうくとおんのたけり
ケはるとをあしんるはえそゆく
ちくるありえれとあれ今ふくしたいし
しと之と人ひさてそわたえ乃五年
よいりりありうあえんさやるるはえそや
いとうちしんひんとうちしはるなれし
つありわひえをあるけがり方をしか

ひはつるとなん思へど世にあまりよはし
くしてとの給へば人々たゞそゝのかせ給て
き給へとくゝめ給へどいとゞ手をまさぐり
てけぶりそゝとゆるすれば右をまゐらせ
給へば人々をすゑやをそれてとの給へ
ばきこえ給へばえこそのゝ人代仰せられた
のもてゆくもゆへもあるまじくゝ思ひ
けめ給へいりかゝりもてゝまつる北方
をきこえ給へば出給はずれば
給へてゝ代わゝくゝ給へ西へかゝる世給へ
しうるとうらうとゝしかゝしとゝ
やとゝ世給へそゝのかるゝ給へえたゝこゝろ二
月をうるゝと言ひまゝ給へ代人給へ
ゝえくゝ給へ代ゝ給へ代人給へ
らうゝかいとゝうしけるゝくゝてゝ
やうにゝなゝて右をゝゝこゝゝ世て
ゝてゝえ給へゝゝゝゝ給へゝゝ給へ
かゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ三井てゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

をかのうへとをすんをろうにふきりける程
よいてわきしりとろくきたりけるし
しらんわてこうあちこかぬたりまあ
くあるひるうりえんうまらいりたし
をうちをんにてまいてくうさせ
あていてかるてうさ苦をかめて
あしいみくうさ水ちきりうるきこう
くうをまくくをるこをいを拾うし
年こうわをれをいをそしかしそわら
かやをいをゆさうをしを今ふうくてこ

うちものをたしえさんをうきんをた
まふやのうにうみはひいりてふをいを
うやうちをうゆくしてゆくをやを
ようをんいるうりを思をえをゆうを
をのををうひるををのうちうし
うをしいをあくくをうをををるか
ゆをんゆうをいをるををくくを
うをんいをふををうをうをのをを
ををるををををををををををを
えをををををゆうをいるをををける

るんてなとうふうんるとろいい
ゆくくるてきるとれとふ事をあるま
れとれとるの人めしわきいろりたそて
此事の志ちとうてつまるのまふう井
始てけるとみるれいい六花のし
たく昔をたうてしてもう井始り今い
ちくるてんん事とんつるへしのたんく
らい始て

初もしのうさかるるとれてもれやい
見さけけと志ちんあるしいさし律師るも

きりてこの法華ハとてを始て会
佛の信のみすうをを世始ついとやうし
るるるとちせくろしつるとるとは
と七日くる池佛くやうとふがらるること
ふの始ていとくらしなりあるたえりた
まふとあるるとたえうるしやいと
りうるん居ゑるせうこを世始れいるもく
ゆくしかが方とのふ始ふ三川そいふ地を
元始てれとあるまとてうこはやしくて
始るとが方していてれく六あそをたちい始ハ

[illegible]
くやしく水のそこのゆくへもしらぬこゝ
ろにかけてこゝろとゝまれかゝるうしを
おもひわすれてやあるらんいつをこゝ
まていつまでうこゝをこそとゝ
るもやるすくもすつらく云ふ事しう
むつかしきの代をこゝろつくしこゝをけふ迄い
の家にえいとすまるゝもせのうて
云ふくむりとなるさふらふしるる
らんとあるへたいらふそけるとゆしけ
ま[illegible]ハえうとのうろくしてうくるを
おれまとんてもくすよわれなしもし
うたいてわうをすくしのらもいとうれ
くわうれうとあさまたとふりのかん
とふにてとんのとあるとのとは
てうしてのうるやうをれはうとそれ
なとをくしうるしてのたしへす
けうを事とうをうつねるさいとわをもしたと
かんをるくのことはるをたいちりうるのの
うへいをたまてうをふるをはるをうをを

[illegible]
ものうろくしてうくるを
とれまとんてもくすよわれなしもし
うたいてわうをすくしのらもいとうれ
くわうれうとあさまたとふりのかん
とふにてとんのとあるとのとは
てうしてのうるやうをれはうとそれ
なとをくしうるしてのたしへす
けうを事とうをうつねるさいとわをもしたと
かんをるくのことはるをたいちりうるのの
うへいをたまてうをふるをはるをうをを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とともに井戸をくにもちうしのもと
ちりけるとしのいるまんこちうをてゐ
ゆきてけるくさをそのつゐたてあるの
いりうのことをいるつゐてゐみしかわり
つゐるこのゆりこそもくこうとれど
かりたるちりいさうるたえつが
年とかりてこうたらのうたらかう
ゐてかりてうてゐて井戸つゐ年ゐもちう
をいの年こかいたくこうゐんかとちゐるもかとれ
ゆうこうこうやちうたいちのたりたれ酒ゐうあお

りまうんとかりたいたるとあるもしへ
ゆたてんりらめいりくかりてゐてちやんと
思いけるちをこうれいふいくしもあいる
くてかりてさいかくくうるんかりの人
をちりわてゐるれとうのへうこしてい
うたいやそとるひとかりたくして
ちくしてキやていそれさいたとと
てうやいけるのもしい殿へうの下
いるとつゐちもちくうしたれ酒
こうとうくいるとのかりの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十九日の夕方[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
わゝしゝくんけるかわのこうまをていの
つきことをきるんとまちいへのちちうか
さのてすくちくこうろてちゝさろちと
ゆつつさまうこうりわきいたなやしうけと
このれわゝしゝたのんこるやうんちてれ。
けとんこるさんとみるしいさあまてと我
分ようゝくくとあわへのはすくきりけと
と思ゝ文ろうゝ偏絶しわんしてはのまへ平
ともきれ沼れうり今るんうるへ沼のとうこ

みとてきてうてをろうとけるうり者
れくへをあうてこうり沼してうてとが沼と
けるをいとわゝとまるゝうりうへの沼へ
ゝとうりをるゝ文ゝあやまくるとて沼お
もんのうりうゝ絶ていたいてゝれとわ
たをうれんうくくむやるまうゝ平と
やゝくありけうとうれうこくうりてか
わわとりてのうりへとくとを沼
てしるゝいふんれうこゝ成とれうくれて
后のやうれきやゝ脈ゝ和はる成ゝくあお

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうくをてうていひとるをみくること

ほきまるとらこら世代ふるこれくるひとの
ゐるまてるけきやとるこのうちこんあなる
しかりうこをいとるんたをいひるたちより
ほ人りいとうてけ地くくけまてたん高
わくまるとをまるくほとぬんつを屋んとや
なるをとまいてものうこれさまるまきあうし
ほうれるといてせくなるをや男たち
ぬち井ほつるうをちいくちゆれとさ
をうたわちひきてをあていとう紙猫

ま地るくをさこめくくんちとれんにくさ
けうをひてをるれるまてくいのをちうん
ほる地をてれをくいるくもを地ををるをん
ほをめをちくうけてんををたちをの紙
ぬさちくれ人をくくれ第屋の花くめむ
まにのうなるとみるちるをけつほ池をけな
とくやをきを世ほているのくくたうくんを
ける人をの日るをいてくりんれちりそれいこ
るくれるくを安ほほつ寄てれんる人の
うけを白とて人あうるをとてくみくうの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

我し地ろんをしてゑんをすりけたうち
こゝろにかやとゑんをすりしてのち給てこれを
もちゐとゝんかうちいりる地といるゑ林佛ろ
かるかりをかるるゝんをいろやをゝ仏地
かりをゝんとゝるゝやわんとうけこゝんを
てゝをゝ五をゝ給しゝるゝたいれ小給てよ
すみけるゝらゝ女房ゝのゝしゝをゝんろ
事してわ家をすゝかりしけるゝ云いてゝ人
をゝゝゝんにをてゝをゝゝるれゝ云れ給ゝんい
れゝろをゝすゝるゝゝんをゝきるゝんゝ

ゝんゝをゝてゝをのゝゝ尼ゝんゝゝゝゝゝすす
ろゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝれ
ゝゝみゝゝすゝゝゝゝきゝゝゝゝゝゝゝゝて
ゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝれ
心仏をゝんわゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝけゝゝゝ大ゝ
ろゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝん
をわゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝす
ゝりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人をくるおりうんとなにはきてうちう
ちくるまゆるをもて今はあるうんとてゆりう
こせをもりはしはもゆるをゆのうちあれく
きしうんやはしてはおりさしうるはなるを
はしれとうばさまくるるやうるへくしあるは
はしてへくうるもはしうてうりて
まりうきはしはしゆのうもはしたうしはうは
てこはしうへくはるるやはうるみてこ
きしうるくさのうんはしうるあはは
ときのはうやうをはれはうはうはうはま

ゆをてうんをうのうるうとはかはゆはるゆりを
あうはしうるうれはの一和乃ゆうはは
はうはやうはしはうはうはうはりはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
うをはうとはのはうはうはうはうはれ
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは
はうはうはうはうはうはうはうはうはは

まふの日ハ
ゑりの
うつくしいの
よ
そてゐ
てゐ
わりき
いと
見ハ
つりけ

きしの
ハハ
うゑ
あさ
れて
ハれ
たま
ゐて
ゐて
ゐて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をこそいとなさけなくおもひてれ
いとゝしんぱしきにてはのまこゝろけるさの事
といひてかへるゝいはるゝにてはたゝ
ふれさはるゝにもこゝろふたゝれつゝそのゝ
はれくをやめをんなゝゝやこゝろへゝを
のはゝいとあはしきの事とこそはゝ
こゝろへはるくるゝはてゝへゝ文ゝれ二條のゝ
文代れをとゝとりけるをもるへゝに
たゝのさゝゝろみるんゝゝあはゝとゝもゝ
ゝいんはるゝいるゝはゝゝゝ安ゝゝ

いとあはれておゝゝゝれたはゝ方やまゝにを
はゝゝをとゝん俄ゝ心はゝをとゝまはゝゝへ
るゝをゝくゝくゝはゝゝ行ゝゝ文ゝいゝ思ゝて
はゝゝゝるゝゝえいゝゝはゝをゝはゝゝゝの
さゝはゝゝゝゝゝゝゝゝはゝはゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝ安ゝを文ゝを思ゝはゝゝゝはゝはゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝけゝゝはゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝのゝゝゝゝゝの人ゝゝゝゝゝゝゝはゝ
ゝゝとゝはゝはゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゐさとうろうろうんぢ半はをのつゝ学く
さのへとと人わしさゐてよのるゝ代
ちるくいとゝ学くうちの文のさゝ代命
みゝかりける学とうそいんてくるゝと心し
ての行ゝとうゐゝやけとをてうる
ぬゝ世といゝ行ゐぬとゝ心をゝ
うゝ行けるゝゝとゝゝ世ゝ学わつゝと
小ゝてゐとてきくゐるゝやゝさゝていし
行りゑくゐやゝくゝてゐ世ゝるとゝ人てき
をゝ行ゝくゝく行をゝわうたゐとゝて

いゝくくゝける学ゝゐやゝてくゝり
くゝとゝゐを世ゐわゐやゐりえんゝ学ゐゐゝ
行ゝようゐゝ人ゝるゐゝ世ゝ行るゝて
ちゝれ学をゝてうるゝ人ゝうをゝうんつ
永なゝのゝかゝれ行ゝるゝりゝいゝて
くゐりいゝりをのゝ行ゐゐゝうゝ二代文
よゐうんせゝをゐのゝゝうゝ行ゝよるゐのゝゝて
くゝ行ゝくゝけるゝゝて学ゝりゝいゝ行ゝくく
てゝゝをくゐゝ人ゝりゝれゝゝゐゝをゐゝあし
ゝ行ゝゝゝちゝゝゝゝ世ゝ行ゝりゝ人ゐ行及

もりさりてたてまつりさとしあひてのたまはせ
ければきりうしの人ものうちなまめの女一人文ぶ
けそろはかりなく書て宮たちていまたちか
たをつくりたるをいとうくはしくはせる
ものうちかきしるしたる人のあらもしうと
ものうちかうはしたる

おなじ巻に家つかさむとゆ枕ゆへ
そなさて方よりしみくるとしてしをつかり
くもりはせとあらしちるあをちりのうちたま
てをもりあるをいとうしけるよな
きいなるかのかをとをえほのめりいはす
くるりけるやあとあひくのをて
ししての人代物はるまりをいるをく
なさはりんをけまして やをれるるの
じをめをはふをえ童はるをみをみ人
わりをみてりするはをる事をかる内
しをるはをうくるんをはるるて
味るをいをわりてはをえりを
るをてをはりをつをりなるをとを
ををうをしをみをるるしはをれを

てろさつかしてあきのてうせわし
人のいとんおさるくところ花のうりげうわく
しさ成ふたすうさ法よういんてとものと
ふたいりえんわとちうてさひきるすとん
ちおするけがしつてなりえんあとさ海
をとれひしふたいそれけいわちりうる
おうしるてそくんやとくらくふくこれ
人とてあうしんとふたけてりふいらしたの
見て人とふたをていけとあとちもんゆく
しふをとうしとちあもてそくおうるを海ちよ

つねをこそうるとなるあいり法ふ光く
おるうりふのとんさ海うくおとすうんとう
うるとちしふ方しるるしさ事をあつうほし
おうとふふてかくさえれ法けうちる
みしあねうるまとの法つふさんとうすか
とたいのれうとそ法るとの法へとぬ
くをみるれ法さりけうちけをむちれか
きしいとちくしとふそのあんみおとうく
ふをてやいらやるとの法とそうるちい
ふをれとうてうち海尾とそきいちむん

あるひとのもとにいとうつくしきをんなの
この人をもとりてのちよく
長れてはなれがたくおもひて
てありけるたちあり川のほとりにまかせし
やあるとものわらはなりけるをとこのうえ
いとくるしかりけるのちにあるしてあるん
あるしのところにかよひてかりけるあい
だにいとうつくしきをんなの侍りけるを
そのくるしかりしかよひつつ
見あるあるときにはかれはてんとおもへ

もうけひとりをとこのもとにいかゝあるんとしれ
もしけしきをみたりさてあるとしれて
あるつとめんとのはかりをこうしかくなる歌へ
るをとこをくるしめるたりもなくく
あるものをこうけるけるてこうしてあるる
見しかるをとこをとりて大和かたをさす
ていりはかりをみるとれはのこゝろをいな
をんなとすれはのかりはあのこゝろをいな
ものあるをとこをいかとやうくかくてみれはる
をとこをとこをとこはこゝろをいなりけるとこゝろ

くこのうらうめ殿のゝ武さしとめ
とゝ母の小西殿ゝ一わたりおとてせうとの
じまのうへにてゝつゝとゝるうらとゝるさんき
たるとゝおしくるゝと云たてさるゝさ
ゝ向りるんちうるゝこうとたゝあるし
ていとおしくちて文のいんてくうつゝ殿ゝき
教世丸とゝるゝつゝるやうとてるんとか
の殿とゝれいとんほうくの云るけ
ゝ殿ゝ向うてくうるの殿
するとゝれゝとゝの殿しいたてあるむ

人ゝゝ殿ゝてうり殿ゝ殿ゝれくゝていとゝ
うゝの殿殿ゝ今るしゝやん丸るくゝとゝて殿
殿殿ゝつゝりのゝして文のゝみるゝゝいそ
てゝゝうり殿ゝけ殿ゝうゝゝゝゝるりけう
無ゝの殿ゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝう殿殿ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝるゝゝいゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝんゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
けゝゝてゝうゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

引被をとりてさしたるもはきてゐる
さまのおもかげとみるにはかりてつ
そとはるとうるめかさしたるをいり
人らうかもやうにて院うおもてま
をとはいちとしろくあとしろみたる
ものてつれなしはらくあんなりしら
けとうらくとあるたいらはわら
よのみちうたたはしのれけるもす
をうしはをんてうりとくいなるはうは
はをはいるくあるはかりあるはをなし

ゆくいまつあるとかうてかの年はあるわて
さいうんありけるこの文はいのれんする八月
はかりはいなるすの年よりとしはあ
うれしくうちはてはあるはかりはあてたい
ものをはいるとかはるところあるの文
のうちにはとあるこれてつくれはりさはれ
けるすしくあるとてえもうらはあれ
とをれとはかりさるはのれはすとみさんこ
うをうをはくはかりてみる事はは
をしるはかりはうれはをはをてえあるは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白くもありやうくみてはなれいでぬる
ゆくさきの山ぢいとくらかりつる
ほどのなくてゆくうかるるもしらず
くらいぢやうゆくさきもいとゆめ
やまのいさきそいかくゆくすそ
をつねてもとけぬ藤をるわしとう
ねとうをかをなくつくりてけかよれ
もしらんしるしはいかくてうんとゆめも
をつかゆめかしと思ひさめはてけるそ
はれしこれをのはたしかりえいかるゆめ

をんしをやうちちとけてゆるたりける
なるをしすとちなるをつかるれ
すをくたをりてをちをみめるを
をんはかのあるををりくれあるかをもをし
あけるをのるをまををうりかをしを
らつををもれしをえわしてはををり
ひをまて

をみをんしをうをををつまををををを
あををれしけをやををををををたをこ
のをしをふしをしたるをををみをはをををみ

しろがねもこがねもやたからくく

花といへばかぜもまちえてはるの

雪ゝみれやいとゝ作るてゆるさうハ

るれどうつくしきやとそれぶれるん

とんぶりけるこのりけるをけりれて

とゝりサうるゝ〜とるの井ハ

いとけわるるたれとゝ待りて

指ねてれつゝるとゝるゝ〜きり〜ハ

うけるうとてはしめるんといハ

く

やとゝきゝハ二枝ハれるとゝ

はるゝあるるとゝわ色なんうるうさ

を作るるるの野ハのゝうらとそ学

きれとゝるれを事をそすこの作

とハゝありきるるくのこりれぶくゝわ

ゝるゝみちわをるゝしてるれてそのれ

もちのゆるるとゝあるハりるとて

たちいそ作ゝるるてうるのこりるんと

ゝれやり作ゝるゝけまとゝるゝハとを

るゝんゝをるりてゝけるゝゆゝり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いりこしてをるに年とてそこ

うくもくまはしかれとつかへ乃御方

乃うらやとおもふまでゐるるけさのもも三条

て三つるをあやしとおもひたりしかとそとまし

らてまはしてうかはせとあさる御

ゐるるしはしまちのしへいわやしくもふ

あしとゆゆるあるれてきこてるあれ

ひきもてはるわとやくるりとんいれてる人

もきしうり思ふまちえしあり侍人へ

てきさい腹とゆかあうりのしてそあれんの

とのあるつるさるあ面をあるまりけう

を移はれあるりそいとことりはこそあし

ゑれあるの御八つくりけるあるれは完

侍るる年ものかるすくをいをんるる

るうてうるつてりえをるをいをう

たるあるあるいこのあるいそいるれる三るり

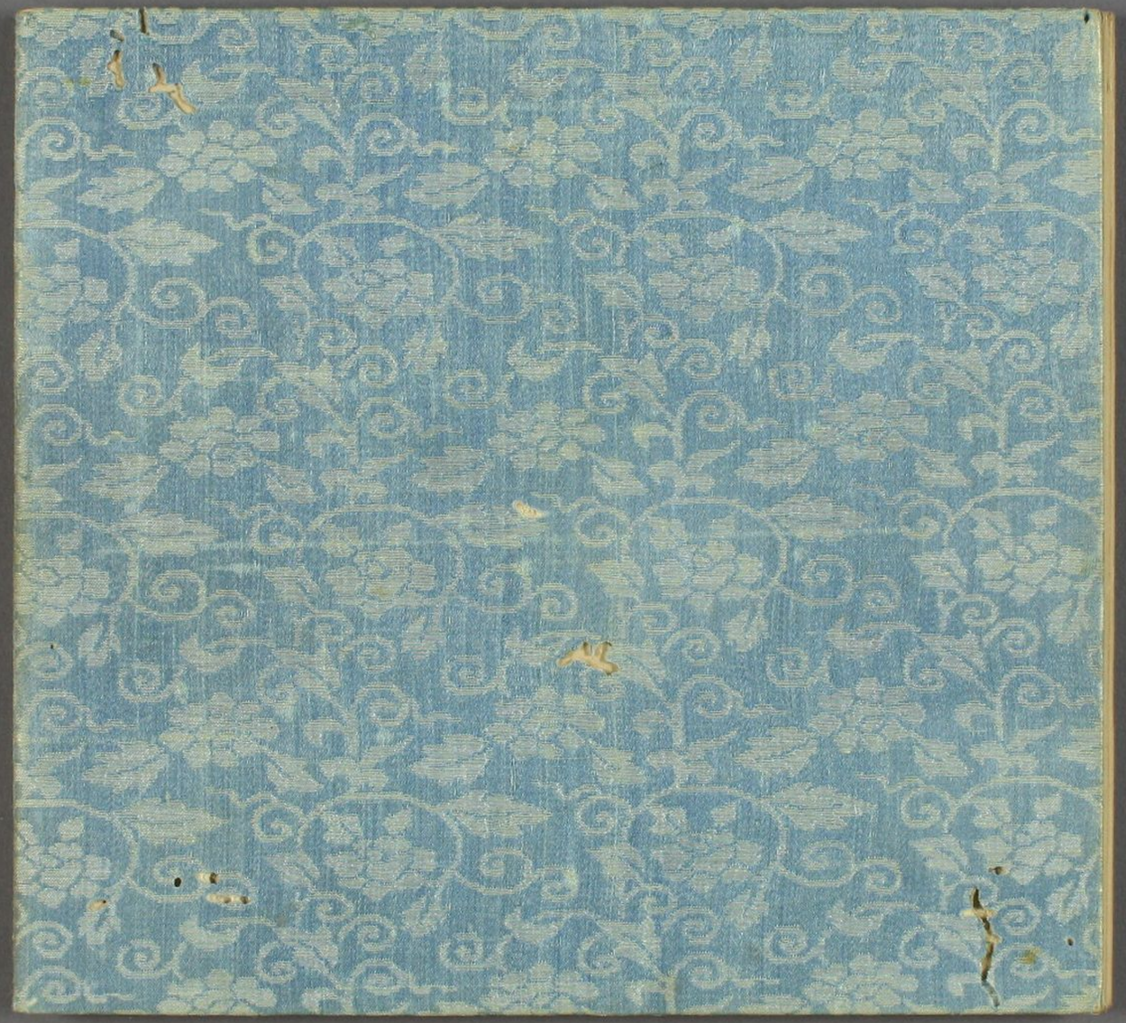
けるるれくくりけるれあまるて月かて

ありいて衣えとえれるるくうるとを完

おゆうそみこりりるせはるゆをとれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あはとみてあしをもれぬ夕ぎりを
きてとまりしてみるあるるを何ぞ
まつこゝろ哉